

津軽みらいの わらしっ子

田舎館村前田屋敷

花田 愛依ちゃん(1歳)

花田直規さん・朱里さん 夫妻の子供
組合員名：花田 賢一さん

どのような、お子さんですか？

元気いっぱい

お気に入り

アンパンマン

好きな食べ物

いちご



■津軽みらいのわらしっこ募集中！

お子様・お孫様の写真を広報誌に掲載しませんか？

写真掲載のご希望は、☎0172-44-6081（総務課：広報係）へお気軽にご連絡下さい。

- 掲載条件 ・年齢は0歳～12歳(小学生まで)
- ・原則当JAの組合員または准組合員のご家族であること

文芸の広場

短歌

戦後から七八年迎えて平和なり
世界に飛び立て永遠の手羽鶴
マスク外し幼な顔残る同期会
最後となりしか傘寿の集い
二刀流大谷翔平だが我も出来る
包丁は右手鉄は左手
七夕の夜空に見ゆる天の川
晴れて二人は手を取り逢えたか
東雲の朝日浴びて露光り
紫陽花咲きて梅雨をば知らせ
まつ字を始めて書いた一年生
習字覚えた妹も古希に
漁火を明るく灯す漁船団
イカを求めて集まる日本海
桑の実をつまんで食べた口ノ中
舌は紫昔のおやつ
太古の昔六本柱で見張りして
敵をば防ぐ縄文時代
梅雨晴れの道端に咲く月見草
露はね飛ばし水々しく輝く
五月蠅いと手で追い払う蠅どもよ
猫が居るので戸口をば開けし
新月の闇夜の中に一筋に
光り輝く源氏螢

雪残る岩木の峰をかすみ見て
津軽の裾野若葉雨降る
山映す水の浄さの十和田湖の
映る緑に心洗われる
長雨の痛みしバラの更生る
日差し漂う朱の花増す
雨上がり光明るく葉を刻む
厨箪しく匂う味噌汁
昔から俺は節約慣れた者
別にあれこれ思わぬ暮らし

櫻庭きよ

おーいつて声を掛けたら夏の雲
ゴロゴロあいさつ代わりの雷
掘り出せし蚯蚓を釣り針にぶすり
大物来いと祈るため池
朝曇る無人駅にて待つ始発
今日一日の乗り鉄の旅
ノンアルのビールで十分だと思ふ
要はぶはーが出来れば満足

小田慶喜

懐かしき蚊取線香焚く匂ひ
夜風にあたる旅先の宿
万緑の中に心までもみどり
染まれと思ふふるさとの道
公園の電灯眺め我が夫
また虫好きの少年に戻る
湯上りのラムネ風鈴走馬灯
今の時代に消えてゆくもの

小田和子

川柳

少子化や団地も過疎になつてきた
温暖化貧しく響く平和の鐘
温暖化心の砂漠を増やしてる
だだっ児と怪我には勝てぬ爺と婆
桜咲く背中で踊るランドセル
練習は嘘つかないと創造する
星空にキラキラネーム舞い踊る
金貯めて使う頃には寝たつきり
空っぽの徳利ねかせて出すサイン
上品にタオルで包む露天風呂
良い事も悪い事も出る噂かな
冷汗がどつと出てくる参観日

寛運坊

泥遊びだと孫は言う田植時
どうやって降りるのだらうハンモック
夜勤中誰かに似てる鵜飼い鵜
育てたら絶対出来ぬ西瓜割
網戸には虫の目ギラリまたギラリ
籐椅子が軋む体重増えたかな
干草に寝転びハイジ体験中
夏休み早く来い来い孫が来る

小田慶喜

俳句

夏の日のじりじり背なで受け止める
蛭追ふ少年時代懐かしむ
ずつしりと朱夏が背中に載る田畑
滴りをこくり命また延ばす

小田慶喜

ふうと息吐き聴いている夕河鹿
早苗田や網持ち走る子らの影
夕焼に手つなぎ孫と歌ふ道
青空に入道雲が胸を張る

小田和子

投稿される皆様へ、短歌川柳など毎月の投稿ありがとうございます。クロスワードクイズ応募用紙と同じ住所へ投稿してください。(JA津軽みらい文芸広場宛)また、読みづらい漢字には必ずフリガナをお願いします。次回は9月に掲載となります。よろしくお願ひします。